PRO-GRP	7080100
	担当部署
PRO-GRP	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

	検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 紫	EDTA-2K	2	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	冷蔵
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	当日保存のみ(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	当日中～翌日
生物学的基準範囲	74.7 pg/mL エクルーシス試薬 ProGRP 試薬添付文書
臨床判断値	設定なし

基準値				単位	pg/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	74.7	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)は、肺小細胞癌において高い陽性率と特異性を示す腫瘍マーカーである。元来「ProGRP」は脳・腸管ペプチドの一種である GRP (ガストリン放出ペプチド)の前駆体を意味するが、ここで云う ProGRP とは GRP 産生過程でその前駆体ペプチドの切断により等モルに血中に放出される C-末端側フラグメントを示している。発生学上、神経内分泌細胞に起源をもつ肺小細胞癌組織より GRP が産生されることは以前から知られているが、血中で速やかに分解される GRP の測定は一般に困難であった。これに対して生物活性のない前駆体ペプチド断片は極めて安定であり、肺小細胞癌患者の血中での濃度比は 70 倍以上にも達するという。すなわち、ProGRP は腫瘍組織における GRP 産生のより正確な指標となる。 三菱化学メディエンス　検査項目解説　改訂第 4 版　332